

長野県坂城町議会

# さかき

No.156

令和2年1月31日

議会だより

## 「令和」の書初

(席書大会 文化センター体育館)

### 10・11月臨時会、12月定例会

- ・台風19号被害対応 補正予算 … 2ページ
- ・ここが聞きたい！一般質問13名 … 4ページ
- ・「これからの坂城町を語ろう」を開催 … 14ページ

# 第3回(10月)、第4回(11月)臨時会、第4回(12月)定例会

# に大幅補正予算

10月15日の臨時会では、契約の変更、11月21日の臨時会では、主に台風19号関連の専決及び補正予算を原案のとおり可決した。また、第4回定例会は12月2日に開会され、条例の制定及び補正予算を可決したほか、陳情に伴う意見書の提出も可決し、13日に閉会した。

なお、一般質問は13人が登壇した。(詳細4ページ掲載)

## 条例改正

### 第4回定例会

◆会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定

非常勤職員の多くが地方公務員法等の改正により「会計年度任用職員」となり、フルタイムとパートタイムに区分して、それぞれの給与等を定める条例を新たに制定するもの。

問 非常勤職員を正規職員と置き換えることにならないか。また採用にあたって、年齢制限はあるのか。

答 職務の内容で不足する部分について対応するもので、正規職員の置き換えではない。なお、年齢制限はない。

問 パートタイムは、深

夜勤務を想定しているか。

答 想定していない。

問 条例制定に伴う経費増の見込みは。

答 概ね3千〜4千万円程度の増を見込んでいる。

◆成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための条例の制定

「成年被後見人」を、公務員、弁護士、医師などになれない者と規定していた欠格条項の見直しを受け、関係する町の5条例を改正する。

## 契約の承認

### 第3回臨時会

◆小中学校空調設備工事の変更請負契約

5月臨時会で議決した

## 補正予算案質疑

### ◆一般会計補正予算(第7号)

問 昭和橋の災害復旧事業のスケジュールは。

答 湯水期を利用して早期に進める。

問 河川内の農地復旧について、流木・土砂の撤去等、離農を防ぐための施策は。

答 国の災害査定を受け

る中で事業実施していきたい。

問 鼠橋運動公園流失による復旧スケジュールは。また、他の場所への移転の考えは。

答 年度内のなるべく早い時期に復旧できるようにしたい。災害は原形復旧が基本のため、まずは現在の場所での早期復旧をめざす。

◆一般会計補正予算(第8号)

問 公園施設災害復旧事業の内容は。

答 千曲川ばら公園の河川敷駐車場が、台風により流失したことに伴う復旧工事で、面積は約3千600㎡、完了は令和2年3月を予定している。

問 文化センター体育館の耐震診断に係る経費として、補強工事を前提としたものである。完了は年度内を予定している。

答 文化センター体育館

の耐震診断に係る経費として、補強工事を前提としたものである。完了は年度内を予定している。

## ○補正予算の主な内容 (11月臨時会)

### 台風19号災害対応

一般会計補正予算(第6号)(専決) 補正額: 4,157万円

#### 主な内容

- ・昭和橋災害復旧測量設計
- ・鼠橋マレットゴルフ場、坂城町運動公園(上五明)災害復旧測量設計
- ・その他、町道・用水等土砂撤去
- ・被災者生活再建支援金、避難所運営費 など

### 台風19号災害復旧

一般会計補正予算(第7号) 補正額: 1億676万円

#### 主な内容

- ・昭和橋復旧工事費
- ・鼠橋マレットゴルフ場復旧工事費
- ・農作物災害対策補助金 など

## (12月定例会)

### 文化センター耐震診断、除雪対応など

一般会計補正予算(第8号) 補正額: 1億6,778万円

#### 主な内容

- ・ふるさと寄附金返礼品経費
- ・文化センター体育館耐震診断
- ・子ども福祉医療給付事業
- ・町道除雪対応経費

### 上五明河川敷の運動公園復旧

一般会計補正予算(第9号) 補正額: 4,800万円

- ・坂城町運動公園(上五明)復旧工事

# 議 案 審 議

# 台風19号被害対応



洗掘された橋脚の復旧工事（土木遺産 昭和橋）

小中学校の空調設備工事の請負契約金額について、消費税法等の改正により変更する。  
増額金額は286万円。

**問** 工期は10月末までとなっているが間に合うのか。

**答** 10月末で工事終了の予定である。

**第4回定例会**  
◆昭和橋の台風による橋脚洗掘の災害復旧工事請負契約  
台風19号による昭和橋橋脚の洗掘に伴い、災害復旧として根固めブロックを設置し保護する工事を実施。  
請負金額は6292万円  
円で請負者は(株)関口建設。

## 審 議 結 果

### 1 全会一致で可決された議案

#### (1) 専決処分

- ① 令和元年度一般会計補正予算(第6号)

#### (2) 契約

- ① 小中学校空調設備設置工事変更請負契約の締結
- ② 公共土木施設災害復旧事業橋梁災害復旧工事請負契約の締結

#### (3) 条例

- ① 坂城町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定
- ② 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係条例の整備に関する条例の制定

#### (4) 令和元年度予算

- ① 一般会計補正予算(第7号)
- ② 一般会計補正予算(第8号)
- ③ 下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- ④ 一般会計補正予算(第9号)

#### (5) 意見書

- ① 令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書

### 2 全会一致で否決された議案……なし

### 3 陳情審査結果

件 名	提 出 者	付託常任委員会	審査結果
令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求めることについて	かがやきさかき 21 代表 山崎 弘幸	総務産業	採択 意見書提出

# ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

## いじめ

### 把握の方法は

### アンケート等から

**問** 学校ではどのようにいじめを把握しているか。  
**教育長** 担任が児童・生徒の表情の観察、声がけ、友人との関わり方、日記の内容等から早期発見、早期対応につなげている。また、児童・生徒に行う学校生活のアンケートから潜在化されたいじめの実態把握に努めている。  
**問** いじめに対する対応はどのような行っているか。  
**教育長** いじめを認知し

た時の初期対応は、該当する子どもに聞きとりをして事実確認をし、担任が適切な指導をした上で学年会、職員会議等で情報を共有する。  
深刻化が懸念される場合、速やかに保護者に連絡すると共に、校長や教頭に報告し、いじめ防止対策委員会等において組織的に対応をする。いじめを受けている児童・生徒を守るために行動する。  
**問** 相談窓口にはどのようなものがあるか。  
**教育長** 学校内では、担任だけでなく誰にでも相談してもよいことを周知



山城 峻一 議員



教育文化課 (役場 2F)

している。学校外では、町教育委員会の教育コーディネーターなどによる相談や県が行うLINE相談窓口など、子どもに

関する相談全般やいじめ・不登校について児童・生徒、保護者に周知している。

## 質問項目

山城 峻一 議員 4ページ

- ① 災害時の避難について
- ② 学校におけるいじめについて

大森 茂彦 議員 5ページ

- ① 災害に強い町づくりへ
- ② 「非核平和の町宣言」にふさわしい取り組みを

吉川 まゆみ 議員 5ページ

- ① 逃げ遅れゼロへ(水害から命を守るために)
- ② 安心して暮らせる町に

朝倉 国勝 議員 6ページ

- ① 台風19号に伴う農業支援について
- ② 外来種の雑草対策について
- ③ 有害鳥獣駆除について

中嶋 登 議員 6ページ

- ① 千曲川(河川)水防について
- ② ふるさと納税について

大日向 進也 議員 7ページ

- ① 地域交通について

塩野入 猛 議員 7ページ

- ① 台風19号対策について
- ② 公共施設の管理について

栗田 隆 議員 8ページ

- ① 国連SDGsへの町の取り組みについて
- ② ゴミ問題について
- ③ 駅の利便性向上を
- ④ 学校での「いじめ」問題

中島 新一 議員 8ページ

- ① 台風19号災害における支援について
- ② 暮らしの安心・安全について
- ③ 生活環境について

玉川 清史 議員 9ページ

- ① 防災対策について
- ② 子どもの予防接種について

滝沢 幸映 議員 9ページ

- ① 災害に負けない町づくりに向けて
- ② 子ども達の安心・安全について

柰津 明子 議員 10ページ

- ① ワンストップでの子育て世代への支援について
- ② イベント特化の集客方法について

小宮山 定彦 議員 10ページ

- ① 避難情報について
- ② 避難所について

# 非核平和宣言

## 平和への取り組みを 各事業を実施



大森 茂彦 議員

**問** 来年は被爆75年の年であり、5年に1度の核不拡散条約(NPT)再検討会議も開かれる。ローマ教皇は、核兵器

の所有は倫理に反すると演説。国連では核兵器禁止条約が122カ国の賛成で採択された。「非核平和宣言」の町として、制定日を記念日とし、原爆展、講演会、映画会、子ども向け企画など平和関連事業はできないか。また、町の呼びかけで協議会の立ち上げを。



役場の入り口に立つ『宣言』をまとめたモニュメント

**問** 19号台風を検証し今後に活かすため、危機管理部署の立ち上げはどうか。

すばらしい内容であり大切にしていきたい。平和が町民生活の基本であるとの理念のもと「宣言」を行い、「日本非核宣言自治体協議会」「平和首長会議」にも加盟。取り組みは、毎年原爆投下の8月6・9日には半旗の掲揚とサイレンを、核兵器廃絶を訴える平和行進には、私が激励のあいさつを行っている。成人式では、平和の大切さを訴えている。戦時中疎開していた方々との疎開交流、図書館では毎年戦争と平和に関するコーナーの設置をしている。協議会については形よりも町民に浸透するような事業を検討したい。

### 危機管理部署の組織を

町長 慎重に検討したい。

# 防災WEB

## 大望橋監視カメラを見易く 画面の設定変更を検討



吉川 まゆみ 議員

**問** 防災WEBは、いざという時、住民の命を守る重要なツールである。

(バックウォーター)監視用の計4台を設置。「坂城町防災WEB」のサイトに掲載し公開している。また、国土交通省所管のライブカメラも3台設置。インターネット等で閲覧が可能である。

その活用についてさらに周知徹底を。

企画政策課長 災害時や防災に役立つサイトである。今後も様々な手法で周知に努めていく。

**問** 大望橋の監視カメラの画像を他の設置場所のように水位が見易くできないか。

企画政策課長 撮影方向やズーム等の設定変更で平常時と千曲川増水時の掲載画面を使い分け、増水時は夜間でも見易い設定とする等、状況に応じた情報提供を検討する。

**問** 今回の台風19号で千曲川の増水による堤防決壊を心配された上五明地域の方から「大望橋付近の水嵩の状態が画像でじかに見れると避難行動が加速できるが」と言われた。

当町の河川の画像や水位の状況を確認できる手段は。

企画政策課長 同報系防災行政無線の整備に合わせ、河川監視カメラを鼠橋、大望橋、昭和橋および日名沢川

通報時刻	地区	件名
2019/12/23 12:30	坂城町全域	1.2月23日 昼のお知らせ
2019/12/23 07:00	坂城町全域	1.2月23日 朝のお知らせ
2019/12/22 20:00	坂城町全域	1.2月22日 夜のお知らせ
2019/12/22 12:30	坂城町全域	1.2月22日 昼のお知らせ
2019/12/22 07:00	坂城町全域	1.2月22日 朝のお知らせ

河川の様子をリアルタイムで



朝倉 国勝 議員

## 農業被害への対応は

### 早期の復旧を

# 農業支援

**問** 台風19号による農業の被害と対応は。

**町長** 町全体では3500万円と見込んでいる。千曲川の増水により農地への土砂堆積、農業用施設への浸水。農業機械の流失や強風による農産物の落下被害、ビニールハウスおよび農業倉庫の損壊等農業者



流木が農地に（上五明）

産基盤への影響が大きい。営農継続への影響の軽減を図るため、国庫補助事業の活用をしていく。

**問** 農業機械の被災に対する対応は。

**町長** 農機課長 修繕、再取得について補助事業を検討している。

**問** 上五明の下河原および東河原地籍の農地復旧は。

**町長** 農機課長 農地災害復旧事業を計画している。国の災害査定を経て、事業採択後復旧事業を行う。

### 有害鳥獣について

**問** 有害鳥獣の駆除については年間を通して関係団体が活動をしている。駆除後の処理場が確保できず、苦慮していると聞いている。町と対応できないか。

**町長** 農機課長 現在村上地区で1ヶ所委託をしているが、町内に複数箇所の設置を検討する。



町内には水防倉庫が4つ

**問** 台風19号で千曲川堤防損傷が4ヶ所、特に鼠橋上流右岸の決壊



中嶋 登 議員

が心配された。このよう  
な時、消防団が現場で対  
処されていたが本来水防  
であるので、意識付けの  
ためにも水防団という名  
称を使うべきである。  
**建設課長** 今回の水防活  
動は、消防団本部をはじめ  
め全分団の団員126  
名が出動し10月12日から

## 千曲川水害

### 水防団と消防団

### 消防団が水防団を兼務

13日の朝まで河川の巡視  
や排水作業などを行っ  
た。

**町長** 当町では、水防活  
動の時は消防団が水防団  
を兼務している。

ふるさと納税1億円超え

**問** 町長招集挨拶で、1  
億円を超えたとの話があ  
り、言い出しつぺの私と  
しては大変嬉しく思っ  
ている。弾みがついたので  
来年は2億円を目指して  
頑張ってもらいたい。今  
までの寄附額の推移と今  
後の施策は。

**町長** 平成28年度は、  
2846万円、翌29年度  
は4558万円、さらに  
30年度は、7979万円  
となり、本年度は、寄附件  
数で5359件、寄附額  
は1億2437万円と  
なった。寄附を受け付け  
るポータルサイトの数を  
増やす検討をしている。

# 地域交通

## デマンド交通導入を

### 新システムの構築を検討



大日向 進也 議員

**問** 今後、「デマンド」交通を導入することで、例えば、「子ども達の送り迎え」「高齢者が運転免許返納しても移動手段がある」「バス停や駅から遠い」そのような声に込められるのではないかと。町長 今後の移動手段の確保に向け、利便性の高い循環バスの運行方法の検討と併せ、デマンド交通を導入する手法も考えられる。民間運行事業者と話し合いの場を持ち、運行形態、受付システム、コストなど様々な視点から意見を聞き、他市

町村の状況も考慮し研究していく。

**答** 循環バスの今後について、利用者からの要望を聞く方法は、また、改善等につなげているか。

H31.4.1改正 **坂城町 循環バス時刻表**

運行日 月～土曜日  
 運休日 日曜日、祝日、12月31日～1月3日  
 お問い合わせ 東信州観光バス坂城営業所 (坂城駅前 観光案内所)  
 TEL 81-2121 FAX 81-2113

月～金曜日までの路線及び停車時刻と、土曜日の路線及び停車時刻とは一部異なります。町内全域を「どこでものれーる」区間として、送迎機をお持ちの方は、バス停留所以外でも乗降車できます。(※乗降車の制限区域を除く。)

運賃表	
区分(乗車あたり)	運賃
一般 (15歳以上65歳未満で中学生を除く)	200円 400円
中学生 (中学生未満は、65歳以上(バス乗降)運賃が半額の介護者)	100円 200円
運賃免除者(自立高齢者(認知症高齢者等)、障がい者(身体障害者、知的障害者、発達障害者等)、小学生以下)	無料



ニーズに合わせたい

建設課長 毎年、時刻表の改正に合わせ、運行経路などの改善・調整を行ってきた。

今後、現在検討を進めている地域公共交通システムの構築に向けて、ニーズ調査やアンケート調査を実施し、利用者はもとより広く町民の声を聞いていく。

# 台風19号

## 風水害の分析は

### 治水対策と連携が重要



塩野入 猛 議員

**問** 甚大な被害が出た台風19号の災害状況と救援活動から、この風水害をどのように分析しているのか。また、災害査定を経て災害状況が確定し復旧が始まるが、復旧に向けたスケジュール(段取り)は。総務課長 今後より一



洪水土砂で埋まった畑(網掛)

層、国・県等と連携を図り、千曲川の治水対策を行うことが重要。また、協定を締結している事業者や団体との連携の重要性を感じた。

**建設課長** どのような工法で復旧するか検討し、災害査定を受け復旧額確定後、速やかに契約・発注となる。昭和橋は、濁水期間中の3月工事完了の準備を進めている。

### 公共施設等の管理

**問** 公共施設等の管理に向けては、施設の必要性

を住民主体で考える、まちづくりの拠点・一環として捉えると共に、災害時の拠点施設の役割、次の世代に質の高いその地域にふさわしい方法を引き継ぐ観点など様々な要素、要件を見据えた管理が必要と思うが。

**町長** 第6次長期総合計画策定アンケートによる町民の意見、地域の安心・安全を守る防災拠点の視点、次代の公共サービスのあるあり方を踏まえ、地域に合った施設の管理に配慮したい。

## 分別せず焼却発電の費用は

現時点では算定不可能

### ごみ処理



栗田 隆 議員

**問** プラスチック容器包装を分別しないで広域連合B焼却施設で焼却発電した場合の町の負担金はいくらか。また、そうした場合は、従来通り分別収集した場合と比べてどのくらい増加するか。

住民環境課長 当町の平成30年度の可燃ごみは



このプラスチックで発電を

4155t、プラスチック容器包装が約80tであるので、この80t分のごみ処理経費が上乘せされることになる。負担金はごみ量割100%方式、つまり全ゴミ量に対して各市町村が出すゴミ量の割合により決定されるため、B施設稼働前の現時点では、ゴミ1t当りいくらかと算定することはできない。また、葛尾組合では、資源物は一括で委託契約をしているので、プラスチック容器包装だけの経費を分けて算定することはできない。

### 高齢者世帯への個別収集

**問** ゴミを収集所へ持ち込むことが困難になっている高齢者世帯への個別収集をしようか。

住民環境課長 わが国の65歳以上の高齢化率は現在28%、当町では35.4%となっている。ゴミの個別収集をはじめ高齢者のゴミ出し支援の実施は今後研究していく。

## 安心と安全

### 防犯カメラ増設の考えは

#### 適切な配備に努める



中島 新一 議員

**問** 防犯カメラの現在の設置・運用状況と町

道・駅前通り・通学路などへの増設の考えは。

住民環境課長 町では、犯罪予防および事故の防止を目的に町施設などに防犯カメラを設置している。役場庁舎・保健センター、町内全小中学校・保育園・文化センター・



坂城駅の防犯カメラ

図書館などの文教施設、鉄の展示館・湯さん館・坂城駅・テクノさかき駅などの計23施設に設置している。設置したカメラ映像は、これまでも警察からの要請に応じて、現に発生した捜査のため提供し、事件の早期解決に向けた協力も行っている。

増設については、各施設の利用状況や社会情勢の変化に合わせ、適切な配備・運用に努める。

### 災害における支援策は

**問** 事業所への支援は。

町長 政府は被災者の生活と生業の再建に向けた対策パッケージとして、復旧支援策を講じた。その中に、中小企業等グループ補助金や小規模事業者持続化補助金がある。今後、商工会などと協力して、国や県の補助制度の周知や更新手続きの支援を図っていく。



# 自主防災会

## 防災訓練の内容は

地域の実情に応じた活動が行われている



玉川 清史 議員

教育文化課長 鼠橋、上五明ともに10月31日付けで測量設計委託費が、鼠橋は11月21日復旧工事費が認められた。上五明は復旧工事費の補正予算の手続きを進めるが、どち

子ども定期予防接種 任意接種となる骨髄移植等による再接種への助成を。  
町長 長野県は、助成する市町村への補助金交付制度を新設した。坂城町でも実施に向け検討を進めている。

らも、3月末の工事完了をめざしている。

子ども定期予防接種

任意接種となる骨髄移植等による再接種への助成を。

町長 長野県は、助成する市町村への補助金

交付制度を新設した。

坂城町でも実施に向け

検討を進めている。

自主防災会による地域に合った防災訓練が行われているか。

住民環境課長 「地域づくり活動支援事業」を活用して、多くの防災・減災事業に取り組んでいる。今回の19号台風災害を経て、自主防災会での応急避難所の開設などの訓練の充実・強化も必要だと考える。こうした訓練も、自主防災会に働きかけていきたい。

千曲川河川敷運動施設

復旧の予定は。

復旧の予定は。



来シーズン、またここで



滝沢 幸映 議員

## 今後の治水対策は

### 整備促進を強く要望

## 千曲川災害

台風19号による千曲川堤防損傷と治水対策は。

町長 増水により鼠橋

上流と下流右岸堤防、

大望橋下流左岸に損傷

被災があった。被災箇所

の応急工事は既に完了している。信濃川水系緊急治水

対策は。

町長 増水により鼠橋

上流と下流右岸堤防、

大望橋下流左岸に損傷

策は。

町長 増水により鼠橋

上流と下流右岸堤防、

大望橋下流左岸に損傷

被災があった。被災箇所

の応急工事は既に完了

している。信濃川水系緊急

治水

対策は。

町長 増水により鼠橋



役場で導入したEV車

踏まえ、検討していく。

移動系防災行政無線の役割と運用開始時期

は。

住民環境課長 自主防災

会と町、自主防災会間の

連絡・情報交換を安定し

て行うことが可能。令和

2年度から運用開始予定。

自治区の遊具について

町長 県内での遊具倒壊事

故を受け、町の対策は。

教育文化課長 定期点検・

管理、利用注意を促す看

板設置などを働き掛け

その方策は

発信手段の充実を図る



赤津 明子 議員

問 子育て支援情報の一元化についての考えは。

町長 子育て環境の充実に努め、魅力ある子育て施策の発信と、出産前から18歳までの子育て情報の提供のあり方を検討していく。

問 年齢層に合わせたイベントの告知の方法は。企画政策課長 広報さか



き、公民館などのか関係団体を通じて周知を図る。

問 コラボイベント等の告知の一本化は。

企画政策課長 関係団体を含めた情報発信の一本化は難しい状況ではあるが、情報のシェア機能を活用した情報共有や拡散を検討する。

問 ホームページとSNSの連携は。

企画政策課長 システムの更新のタイミングに合わせ、ホームページのリニューアルを検討し、デザインなどを工夫する中、SNSとの連携も含め、情報の発信方法・検索方法など、より魅力ある充実したウェブサイトをづくりを念頭に進めていく。広報さかきやポスターなどの紙媒体と共に、各団体等と連携し、イベント内容や年齢層など考慮した集客方法・告知方法を工夫し皆さんに届ける。



小宮山 定彦 議員

発令対象を特定すべき

行政無線の地区放送で

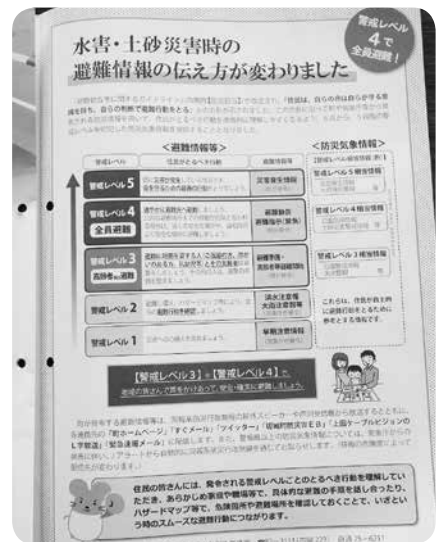
避難勧告

問 昨年の西日本豪雨の際の避難情報の混乱を反省し、内閣府防災担当では「避難勧告等に関するガイドライン」の改定を行い、この6月から全国で運用が開始される運びとなった。当町でも5段階の警戒レベルを明示した新しい避難情報の伝達方法が「広報さかき8月号」で住民に知らされた。

問 暗くなってからの避難には2次災害の危険もあることからの確な発令のタイミングだった。ただ、避難勧告の場合「全員避難すべし」である。町内全域に発令となると、1万5千人の全町民が対象となる。新ガイドラインにあるように地域を特定すべきだったのでは。

総務課長 上田市生田の水位観測所において千曲川の水位の急激な上昇が見られ、氾濫危険水位を超えることが予想された。また、近隣の市町村に土砂災害警戒情報が出ていたので16時に発令を決めた。後手に回らず先を見越した対応ができた。

町長 勧告として町全体に出した。防災行政無線の地区放送を今後有効に活用できる体制を整えていきたい。



警戒レベル4で全員避難！ (広報さかき 2019年8月号)

## まちづくりへの挑戦

総務産業常任委員会

治・環境・福祉・教育など、54余りの地域事業を実施。町内に独立した自治体が存在している印象である。

岩手県軽米町は、人口約8500人の県北部の山間地。人口減少により5校あった中学校4校を廃校し、その一部校舎で町外民間企業を誘致し、レタスやハーブの水耕栽培工場として活用している。今後の課題は採算性と販路開拓とのことだ。

岩手県紫波町は、盛岡に隣接し人口約3万3千人の町。駅前の町有地10・7haを中心に、「オガールプラザ」を開業した。ホテルや体育館、図書館、カフェ、産直マルシェなどがある官民一体型施設として整備されている。

優れたリーダーシップの存在により、官の補助金に頼らない全く新しい街づくりを実現している。

(中島 新一)

総務産業常任委員会は、9月24日(火)から26日(木)まで、山形・岩手県内で視察研修を行った。山形県川西町は、2000年頃、町財政逼迫により、行政改革で7つの地区にある公民館の「公設民営化」策を決定した。吉島地区は、2007年746世帯加入のNPO法人「きらりよしじまネットワーク」を立ち上げた。町の指定管理料・県の委託金等年間6600万円の予算で自



オガールプラザ (紫波町)

## 「ゴミゼロ」と「子育て支援」

社会文教常任委員会



ゴミゼロ運動について聞く (葉山町)

令和元年10月16日から17日にかけて閉会中県外視察として、ゴミゼロを目指す神奈川県葉山町、大胆な子育て支援策で人口減少に歯止めをかけようと努力している山梨県身延町を訪れた。

御用邸やヨットハーバーで有名な葉山町は、人口3万3千の風光明媚な町である。ゴミ処理は広域連合施設で行うことが国の方針であるが、平成20年こ

の町に「脱焼却、脱埋立」を公約にした町長が誕生して以来、葉山町は広域連合から抜け、独自のゴミゼロ運動を展開してきた。

町職員による個別収集、資源ゴミリサイクル、試験的な常設ゴミステーションの設置などを行ってきた。現在こういった施策によってリサイクル率50%を達成しているとの説明であった。視察2日目は、大盤振る舞いとも思える「子育て

支援策」で活性化に取り組む、日蓮宗総本山久遠寺を抱える山紫水明な身延町を訪れた。この町は、平成2年には2万人超だった人口が27年には1万2466人に減少し、町内3小学校の今年度入学者総数は40人であった。0歳児から保育料(副食費も含め)完全無償化、18歳までの医療費全額助成、第3子の出産祝金30万円といった支援策が打ち出されている。

(栗田 隆)

# 道路網の早期改良の実現を

## 地域交通網対策特別委員会



県道坂城インター線の先線工事

10月29日(火)地域交通網対策特別委員会を開催した。18号国道バイパスの進捗状況、インター先線、産業道路改良工事等現在推進中の事業について、建設課長、担当者から説明を受けた。今後特別委員会としての活動の方向を検討した。

18号国道バイパスについては、月見区以北の土地買収を積極的に展開しており、本年度末までには完了できる予定である。土地買収の完了ができれば今後、目に見える形で事業が進展する。さらなる工事の推進には、国、県に対し強力な要請活動が必要である。

一方、インター先線は、順調に工事が進展し、しなの鉄道に架かる跨線橋こせんきょうの工事が実施中。

産業道路の若草橋改良工事については本年度末に完成の予定で工事が進んでいる。

月見区内の拡幅工事も予定通り進捗との報告を受けた。いずれの事業においても、早期完成に向けては、国、県への強力な要請活動が必要である。本委員会としても、あらゆる機会をとらえ要請活動を推進することを確認した。

(山城 峻一)

## 議会を傍聴してみませんか

### 次の定例会は3月初旬開会の予定です

事前の申し込みは不要です。当日議場(役場4階)へお越しください。

## 議 会 日 誌 (主なもの)

12月	11月	10月
26日 町例月出納検査	20日 議会全員協議会	1日 町表彰者選考委員会
13日 議会運営委員会	20・22日 これからの坂城町を語ろうー第12回議会報告会	まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会
9日 公益財団法人さかきテクノセンター役員合同会議	21日 議会運営委員会、第4回議会臨時会	坂城インター線延伸要望活動
2・18・26日 議会報編集委員会	22日 町総合計画審議会	3・4日 六ヶ郷用水組合議会視察研修
2・13日 12月議会定例会	25日 かがやきさかさき21陳情来庁	7・11・18・21日 議会報編集委員会
28日 定期事務監査報告	上田法人会坂城支部要望来庁	8日 上田地域広域連合議会代表者会
26日 町例月現金出納検査	議会運営委員会	15日 議会運営委員会、第3回議会臨時会
		16・17日 社会文教常任委員会(閉会中の調査)
		18日 千曲坂城消防組合議会定例会
		21日 道路整備促進期成同盟会長野県要望活動
		23日 議長会第29回定期総会
		23・25日 上田地域広域連合議会定例会
		24日 議会全員協議会、千曲衛生施設組合議会定例会
		25日 まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会
		28日 町例月現金出納検査
		29日 地域交通網対策特別委員会
		30日 葛尾組合議会定例会
		5日 六ヶ郷用水組合議会定例会
		6日 長野広域連合議会運営委員会
		11日 長野広域連合議会定例会
		15日 新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会中央要望活動
		18・19日 千曲坂城消防組合議会視察

# 追跡レポート

あれは どうなった…

「議会だより」では、定例議会での一般質問などについて、その後町政にどのように反映されているか追跡調査します。

## 質問

### 子どものインフルエンザ 予防接種に助成を

集団生活をする子ども達にウィルスのまん延を防ぐため、任意で受けたインフルエンザ予防接種に対する助成はできないか。



## 答弁

福祉施策全体の中で判断していく。

## それでどうなった

今年度から中学生以下の子どもへの助成が決定した。

## 質問

### 自動車安全運転補助機器 への補助を

高齢ドライバーの踏み間違いによる交通事故防止のため、安全運転補助機器への補助金を出せないか。



## 答弁

国や他市町村の動向を踏まえ、検討していく。

## それでどうなった

令和元年10月から自動車急発進防止装置の取付費の補助が始まった。

## 質問

### 文化センター体育館の 耐震診断を

多くの町民が利用する体育館の耐震診断の実施は。



## 答弁

事前調査の結果を踏まえ、耐震性の検討・評価を行い、評価の結果に基づき必要に応じ耐震診断に移行する。

## それでどうなった

今年度中に実施。

# 坂城町を語る

## —第12回議会報告会—

### 各会場の参加者数

開催日	会場	参加人数
11月20日(水)	金井振興センター	12
	中心市街地コミュニティセンター	22
11月22日(金)	文化センター	19
	農協旧村上支所	16

### 各担当班のテーマ

総務産業	「公共施設」 「道路交通」
社会文教	「防災」 「教育」



町議会では、11月20日(水)、22日(金)に、これからの坂城町を語るうゝ第12回議会報告会を開催しました。

4会場で合計69人の皆さんにご参加いただき、今年度からはテーマを定めて、参加者がそれぞれ自由に意見を出し合い議論する形式としました。

今後、皆さんから出された意見・提言をもとに、各常任委員会で調査・研究をして町政に活かしてまいります。

皆さんから出された主な意見・提言を掲載します。

### 総務産業常任委員会

#### 《公共施設について》

統廃合を含め、町民の意見を聞く機会を設け、策定して行く予定であることを説明した。

#### 「役場・文化センター」

参加者からは、両施設は同じ場所が望ましいのではないかと

○役場は改築がいい

○文化ホール新設を望む

○複合施設に改築すべき

○文化センターのリニューアルを望む

との意見があった。

「その他施設」

台風で被災した公共施設等の復旧にかかる現段階での進捗報告をし、その他参加者から、

○施設の維持管理が課題

○文化の館、B1プラザ、

○町営住宅の統廃合の検討と災害時には応急住宅にしたらどうか

○葛尾組合移転後の利用

の検討が必要では

○台風で被災した河川グラウンド等の早期復旧をなどの意見があった。

#### 《道路交通について》

#### 「18号バイパス」

坂城区間3.8kmは、現在用地交渉を進め、一部工事用道路に着手している。本年度は6.7億円の予算がつき、引き続き要望活動に努める旨の説明をした。

#### 「インター先線」

事業概要として、工業団地までの400m区間の工事で、本年度は、しなの鉄道跨線橋の工事を進め、工業団地造成に合わせ、町道A09号線の整備も進めると報告をした。参加者からは、

○沿線に人の集う施設をという意見があった。

「生活道路」

○全町的に道幅、通学路

などが狭く危険な箇所が多い。早急に拡幅実

施を望む

○坂小北交差点から続く3方向への道の拡幅を

○坂城高校下交差点で北側からの下りは、事故もあり、スピード抑制の路面標示、速度標識の看板設置など安全対策をしてほしい

○横町と田町の交差点に信号機設置を

○救急車、消防車が通れない道がある

などの意見があり、個々の事案については、今後

も検討課題として取り上げていくこととした。

また、

○県道の街路樹の定期的な剪定を

といった意見については、県が定期的に巡視しているが、引き続き要請していきたい。

○舗装が痛んでいる箇所

の早期の補修を

については、町では定期的に巡回し、簡易補修を実施しているが、損傷箇所があれば、建設課に連絡をしてほしいとした。

なお、産業道路若草橋

# これからの

工事の進捗状況と、その先の予定についての質問があり、若草橋は、今年度末の完了を予定。金井工区と酒玉工区の間は、来年度から、順次実施設計等の事業着手を行なう計画であるという説明をした。

## 「堤防道路」

○ばら公園へのアクセスとして、現在の堤防道路通行状況では問題があるのではないかと町で管理してはどうかといった意見に対し、千曲川河川事務所と協議をして許可を得るなどしながら管理している。堤防であるため、安全面や費用などの課題もあり、協議していくとした。

## 社会文教常任委員会

### 《防災について》

台風19号による未曾有の災害の後であったこともあり、「防災」に関して

は議論百出といった感があつた。出された多くの意見を一言でいうと「今回同様の台風があつた場合、自分は一体どうすればいいのか」ということであつた。

町対策本部

区長・自主防災会長・

民生委員

組合(組合長)

班(班長)

各戸(個人)

この組織的連携にも課題があり、警戒レベル4(全員避難勧告)が出されても「困惑するばかりであつた」という意見が多く出た。

ある民生委員さんは、

「自分が担当している人数は8人。その方々全員を私一人で避難させるのは無理である。」

12日当日は、役場から

一人ひとりの現状を確認するよう指示があつた。とりあえずそれぞれに電

話で自宅待機するように話した。

一人では他に手段はない。区長とは電話で話し合ったが特段の妙手があるわけではなかつた。」と話された。

手助けの必要な人には誰が助けに行くかは決まっている地区もあれば、班長が救助すべき人を把握することになつている地区もある。しかし、有事の際は、本当に機能するのかが疑問であるとの発言もあつた。

台風19号の経験を今後に活かすため、実践的な「自助・共助・公助」の仕組みづくりが必要と感じた。

### 《教育について》

教育については、防災関連の議論に時間がかかり、あまり時間が取れなかつた。参加者からは、次の問題提起があつた。

○教育が学校まかせになつていないか。もつと家庭、地域社会が関



わるべき

○教育格差が生じる理由は何か

○いじめ、不登校、ひきこもり等への対処をどうするべきか 等々

確かに、学力の問題一つ取っても、学校での学習、先生の技量だけで決まるわけではなく、家庭力、地域社会力といった要素の比重も大きいはずである。

今回の(町民の自由な議論の場)を提供するという新しい試みは、集計

したアンケートからは、概ね好評であつた。「意見交換できる形式の試みはよかつた」「新しい試みを数年継続してみたらどうか」「意見が多く出た。その意見を取り上げながらの意見交換ができてよかつた」との半面、「テーマが多く、また大きすぎる」「時間をもつととるべき」「全員が発言できる配慮を」「ワークシヨップは難しいのではないか」等の意見もあり、今後の参考にしたい。

# あすなろたち

心・技・体を鍛える

## 決断力・責任感・自主性を育成

### スポーツ少年団剣道

スポーツ少年団剣道は、坂城町武道館をお借りして、毎週月曜・木曜・土曜日の夕方稽古をしています。

現在、年長から小学校6年生までの21人の子どもたちが元気に活動しています。指導者にも恵まれ、経験豊富な素晴らしい先生方がたくさんいらっしゃいます。

夏には、東京の日本武道館で全国大会が行われ、高学年は毎年参加しています。日本全国から集まったチームが、あの大きな会場で戦うのは圧巻です。

武道は、日本古来の武勇

を尊ぶという精神を受け継ぎ、長い歴史の中で培われ発展してきた伝統文化です。

そして、礼儀正しさを身につけ、技を磨き、心身を鍛え、立派な人になるための修行の方法です。日々の稽古の中では、技の練習や試合の勝ち負けだけを目的にするのではな



く、礼儀を守り、節度ある真剣な態度で臨むことも学びます。

- 礼儀作法を身につけたい！
- 支えあえる仲間がほしい！
- 将来、警察官になりたい！
- 何かスポーツを始めたいけど日に焼けるのはちょっと…
- そんな君！一度見学に来てみてくださーい。

坂城町武道館でお待ちします。

（保護者会長 佐藤 恭子）

## 余光

◆ 昨年は、平成から令和へと新しい元号になった。万葉集より文言を引用したものである。この令和には「人々が美しく、心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められている。一人ひとりの日本人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせる時代となつて欲しい。

◆ 本年、一番のイベントと言えば、東京オリンピック・パラリンピックの開催であろう。楽しみにしている種目がたくさんあり期間中はテレビに釘付けになるのは間違いない。オリンピックになるのは間違ったことではない。努力の積み重ねである。メダルが確実だと言われた選手でも逃すこともある。選手達が一生懸命に戦う姿を目に焼き付け、我々も新たな時代の一步を大きく踏み出したい。

（大日向 進也）

発行責任者 議長 西沢 悦子  
議会報編集委員会

委員長 小宮山定彦  
副委員長 山城 峻一  
委員 玉川 清史  
栗田 隆

大日向進也